



▲壮行会に出席した選手団の皆さん

町選手団メンバー（敬称略）

【監督】岩橋康紀

【コーチ】鈴木茂喜、遠藤久之

【選手】長井雄仁（主将）、野口貴之、喜多見吏、秦和輝、神幸憲、斎藤将太、山本晃史、鈴木善弘、古川智康、飯山慎也、渡部亮、鈴木浩貴、渡部雄裕、佐賀悠、鈴木大介、加藤健嗣、渡辺健一、鈴木法正、野口裕貴、長谷川裕史、安藤雄一、天賀谷佳祐、鈴木裕明、稲澤和英、笠間善一

町の代表が健闘を誓う

市町村対抗県軟式野球大会壮行会

福島市のあづま球場などで行われる第8回市町村対抗福島県軟式野球大会の町代表選手壮行会は8月8日、学びいなどで開かれました。式では、前後公町長が「勝敗はもちろんのこと、他チームとの交流を深め、思い出に残る大会にしてほしい」とあいさつを述べ、岩橋康紀監督、鈴木茂喜コーチと長井雄仁主将にヘルメットとボールを

手渡しました。岩橋監督は「ここ数年、初戦敗退が続いているので、今年は初戦を突破できるよう、チーム一丸となって頑張りたい」と抱負を述べました。猪苗代町チームの初戦は9月14日、午前11時30分から本宮市のしらさわグリーンパークで棚倉町チームと対戦します。皆さんの応援をよろしくお願いします。



湖岸のごみを拾い集める参加者

水質日本一の復活を目指す

松橋浜でクリーンアップ作戦を実施

町と会津若松市、郡山市でつくる猪苗代湖環境保全推進連絡会は8月3日、猪苗代湖岸一斉クリーンアップ作戦を実施しました。松橋浜では、町内の各団体やボランティア、一般参加者など約60人が参加。参加者たちは水質日本一の復活を願いながら、湖岸に打ち上げられたごみや枯れ草などを丁寧に拾い集めました。終了後には、県生活環境部の千葉美穂主査による座学も開かれ、参加者らが猪苗代湖の水質などについて学びました。

来春の開園に向け工事がスタート

（仮称）川西認定こども園建設工事の安全祈願祭

町内の磐里字大五百刈に建設予定の（仮称）川西認定こども園の安全祈願祭は8月25日、現地で開かれ、関係者が工事の無事を祈りました。安全祈願祭には約70人が出席。神事で前後町長と施工業者が鍬入れを行った後、関係者が玉串をささげました。幼稚園と保育所それぞれの長所を生かし、安心して子ども預けられる施設として整備される同こども園。来年4月の開園に向けて、いよいよ工事がスタートしました。



安全祈願祭で鍬入れをする前後町長



前後町長から賀寿を受ける佐藤さん（左から2人目）

佐藤シズイさんが100歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

8月15日に満100歳の誕生日を迎えた佐藤シズイさん（樋ノ口）への賀寿贈呈式は同日、特別養護老人ホームいなわしろホームで行われ、家族らが長寿を祝いました。前後公町長、戸田忠義町老人クラブ連合会長らが佐藤さんに賀寿や記念品などを贈り、孫の佐賀加代子さんが花束を手渡しました。長男の祥一さんは「若い頃から病気がちだったが、皆さんの支えのおかげでこの日を迎えられた。1日でも長く生きてほしい」と感謝を述べました。

故小林仁さんに叙勲伝達

町議会議員としての功績に旭日単光章

元町議会議長の故小林仁さんへの叙勲伝達式は8月12日、町役場で行われました。伝達式では、須藤浩光県会津地方振興局長が小林さんの妻かよさんと長男の繁さんに旭日単光章の勲記と勲章を手渡しました。繁さんは「皆さんの支援のおかげで、立派な章を頂くことができた」と感謝を述べました。小林さんは昭和55年から平成12年まで町議会議員を5期務め、町政伸展に尽力。平成8年から10年までの2年間、議長を務めました。



左から須藤局長、繁さん、かよさん、前後町長



会員の手ほどきを受けながらプレーする子どもたち

小中学生がゲートボールに親しむ

町ゲートボール協会の会員が指導

町ゲートボール協会は7月30日、町農村環境改善センターで講習会を開き、子どもたちにゲートボールの楽しさを伝えました。町社会福祉協議会が主催するボランティア講座の一環で、町内の小中学生13人が参加。子どもたちは、会員から打ち方などの基本を教わりながらプレーを楽しみました。同協会の田中徳英会長は「ゲートボールは生涯できるスポーツ。若いうちから親しんで、将来またプレーしてほしい」と話しました。

子どもたちが川下りを楽しむ

猪苗代湖の自然を守る会の磐梯自然体験教室

磐梯自然体験教室は8月17日、国立磐梯青少年交流の家などで開かれ、子どもたちが土田堰の川下りを体験しました。この教室は、保科正之公を祭る土津神社と関係が深い土田堰の歴史に触れてもらおうと、猪苗代湖の自然を守る会が開催したものです。子どもたちは、ゴムボートやタイヤチューブに乗って、交流の家近くの約450メートルの区間を何度も下り、自然を満喫しながら堰の歴史を学びました。



川下りを楽しむ子どもたち



猪苗代の夜空を彩る大輪の花火

音楽に合わせて約 3000 発

いなわしろ花火大会を開催

いなわしろ花火大会は 8 月 13 日、町運動公園で開かれ、約 3000 発の花火が夜空を鮮やかに彩りました。音楽に合わせて、尺玉やスターマインなどを次々に打ち上げ、会場を訪れた大勢の観客を魅了しました。花火の打ち上げを前に、ステージでは「それいけ！アンパンマンショー」、お笑いトリオ「テンパラ」によるコントなどが繰り広げられ、訪れた家族連れなどが楽しいひとときを過ごしました。帰省先の会津坂下町から訪れたという男性は「音楽と一緒に楽しめるのが、ほかにはない魅力。『アナと雪の女王』の主題歌や『恋するフォーチュンクッキー』が流れると、娘たちが一緒に歌いながら花火を眺めていました」と話しました。



子どもたちも大勢訪れ、イベントなどを満喫していました



仲間たちが見守る中、全力を尽くす選手たち

第 5 分団がW準優勝

北会津地方消防操法大会

第 15 回県消防操法大会北会津地方大会は 8 月 3 日、会津若松消防署城南分署で開かれました。猪苗代町、磐梯町と会津若松市の消防団が出場し、ポンプ車操法の部と小型ポンプ操法の部で操作の正確さなどを競いました。町の代表として第 5 分団が出場。両部門とも、優勝した会津若松市に惜しくも敗れましたが、4 人が個人賞を受賞するなど、健闘しました。選手の皆さん、サポートした団員の皆さん、長い間本当にお疲れさまでした。



慰霊碑の前で剣舞を奉納する吾妻小の児童

東軍殉難者の御霊安らかに

戊辰戦争の激戦地母成峠で慰霊祭

戊辰戦争の激戦地、母成峠の戦いで戦死した東軍殉難者の慰霊祭は 8 月 21 日、母成慰霊碑前で行われました。母成弔霊義会の会員や殉難者の子孫など約 30 人が出席。仏事後、母成弔霊義会の橋本彦一会長が祭文を読み上げ、前後公町長が「この歴史を風化させないためにも、皆さんの協力の下、後世に伝えていってほしい」と弔辞を述べました。慰霊祭後、吾妻小の 5 年生 11 人が白虎隊の剣舞を奉納し、戦死者の霊を慰めました。



須藤局長(右)から叙勲の伝達を受けた山田さん(中央)

故山田積雄さんに叙勲伝達

消防団活動の功績に瑞宝単光章

元町消防団庶務分団長の故山田積雄さんへの叙勲伝達式は 8 月 4 日、町役場で行われました。伝達式では、須藤浩光県会津地方振興局長が山田さんの長男英作さんに瑞宝単光章の勲記と勲章を手渡しました。英作さんは「大変光栄な章を頂き、父も喜んでいと思う」と感謝を述べました。山田さんは昭和 21 年、町消防団に入団し、第 6 分団長、庶務分団長などを歴任。昭和 60 年までの 39 年間にわたり消防団活動に尽力しました。

町の外国語指導助手が交代

町役場で歓送迎会を開催

町の外国語指導助手の歓送迎会は 8 月 7 日、町役場で開かれました。平成 22 年に来日し、4 年にわたり町の外国語指導助手を務めたアラン・インクスター先生が離任。アラン先生は「皆さんとの思い出を一生忘れない。言葉で言い表せないくらい感謝しています」と話しました。着任したフォーチュネイト・セイラム・アドゥクボ先生は「こんなに温かく迎えてもらっていることをガーナの家族に教えてあげたい」と感謝していました。



後任のフォーチュネイト先生

離任したアラン先生



献花をして英霊の冥福を祈る前後町長

英霊 800 余柱の冥福を祈る

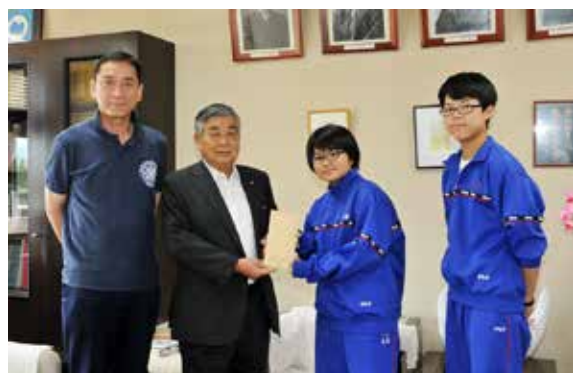
戦没者追悼式と慰霊祭が行われる

町戦没者追悼式は 8 月 1 日、学びいなで行われ、町遺族連合会会員や来賓が第二次世界大戦で犠牲になった 800 余柱の冥福を祈りました。前後公町長が「尊い犠牲の上に築かれた現在の平和と繁栄を維持し、安心して暮らせる社会づくりに全力を尽くす」と式辞、湯田邦彦県会津保健福祉事務所副所長、長沼一夫町議会議長が追悼の言葉を述べた後、出席者らが献花し、英霊を慰めました。追悼式に続き、町遺族連合会主催の慰霊祭が開催されました。

震災からの復興に役立てて

東京都の「みしまの森学舎」が町に寄付

東京都世田谷区の「みしまの森学舎」と東深沢中 P T A は 8 月 4 日、町に災害復興支援協力金 16 万 3342 円を寄付しました。同区の東深沢中と東深沢小、等々力小の 3 校で組織する同学舎は、震災後、生徒会や児童会を中心に募金活動を展開。東深沢中が本町でスキー合宿をしていることから、毎年浄財を寄せています。同校生徒会総務の高橋理子さん(2 年)、佐瀬智彦さん(同)、松平昭二校長らが町役場を訪れ、前後町長に寄付を手渡しました。



前後町長に寄付金を手渡す高橋さん(右から 2 人目)ら